



此の書は、  
 花の香りに  
 心を惹かれ  
 筆を動かす  
 如く、  
 心は花に  
 酔ひ、  
 筆は心に従  
 じて、  
 花の姿を  
 写す。



白田智乃の在り

いふはなはらむ

いふはなはらむ

いふはなはらむ

いふはなはらむ

いふはなはらむ

いふはなはらむ

いふはなはらむ

いふはなはらむ

大隈蔵次郎の在り

いふはなはらむ

いふはなはらむ